

わんぱく学園ニュース

平成 14 年 4 月 No.88

今シーズン最後の「ひろ鍋」を食べたぞ

3月27日に「ひろ工房」で粘土遊びをしました。参加してくれたのは子どもが3人と大人が4人でした。いつものように朝のあいさつをして思い思いに作業を開始しましたが、参加していた男の子が、「僕が作ったカブトムシはどうなったかなあ」「もう焼けているのかなあ」と、言い出しました。お母さんに聞いてみると、どうも夏頃に作ったもので、夏休みの宿題として学校へ出す予定だったみたいです。そう言われてみると、確かにこの前、作品の整理をした時になかなか芸術的なカブトムシのような作品があったことを思い出しました。

さっそく心当たりを探してみると、カブトムシが箱の隅っこにちゃんと隠れていました。男の子もほっとしましたし、しばらくは作品の芸術性について話が盛り上がりました。

11時くらいになると、そろそろ作品が出来上がりましたので、完成した人から今シーズン最後の「ひろ鍋」を食べました。この日もたくさんの材料が集まりましたので、栄養いっぱい「ひろ鍋」を楽しみました。いつもは必ず少しは食べきれなくて残るのですが、今回にかぎりきれいになりました。

さて、私事ですが4月の異動で仁多町の高尾小学校へ転勤になりました。高尾小学校がある地域は標高550mぐらいのところ、朝夕はけっこう冷えます。そのため朝が弱い私でも目覚まし時計無しで目がさめます。ちなみに昨夜は、真夜中で1度ぐらいでした。冷蔵庫も要らないくらいです。

今年は例年になく桜が早く咲いたようで、校庭の周りの桜は風が吹くたびに花びらが盛大に散っています。こんなにゆったりした気分が花が散るのを見たことはありませんので、ものすごく新鮮に感じています。

本日、着任式も始業式も終わり、18人の子どもの顔も覚えましたので、なんとなく落ち着いた気分で、この「わんぱく学園だより」を作っています。遠い地で作ったものを配布するようになりますので、今までより遅れること

もありますが、勘弁願います。

話し変わって、一人ぐらしもなかなかのもので、珈琲も以前よりもものすごく拘って入れていますので、たぶん美味しいものを飲んでいるんじゃないかと思えます。ただ、食事に関しては心配していることがあります。「ひろ鍋」のおかげで、とにかくなんでもかんでも鍋にして、肉でも野菜でも入れておけば栄養面に関しては太鼓判なんだろうが、日本料理の特徴でもある素材そのものの味を楽しむことを忘れつつあるのが心配です。かと言って、何種類もていねいに調理することは不可能だし、このあたりのことを今後数年をかけて解決していこうと考えています。何かよい方法があれば、また教えてください。

4月の「わんぱく学園」のメニューは次のとおりです

4月7日	お休み
14日	お休み
21日	魚つり
28日	「ひろ工房」で粘土遊びです 何を作るか考えておくと早く作業にとりかかれますよ。

集合時間は9時 集合場所は光人塾前の駐車場

